

第2回「患者さんの意見を伺う会」 『来て良かった病院とは～みなさんの意見を聞かせてください～』

平成23年11月6日（日）10:30~12:00
第三病院 会議室（1）

議題1

「一般論として、来て良かった病院とはどんな病院でしょうか。」

全ての参加者から「患者が満足して帰れる病院」という意見が挙がった。

具体的には、

- ①「患者の話を良く聞いてくれる医師がいる病院」
- ②「常に自分のかかりつけの医師がいる病院」

以上の意見が挙がった。

①に関しては、

医師によっては言いたいことも言えずに診察を終えてしまうことがある。また、患者からは何を伝えればいいのか分からないときもあるので、医師から「足の具合はどうか、頭は痛くありませんか」といったように具体的な問いかけをして患者の言いたいことを引き出して欲しいとの意見が挙がった。

②に関しては、

「自分のかかりつけの医師」がいつもいることが安心感につながる。大学病院のため、医師の異動があることは理解しているが、事前に何の連絡もなく医師がいなくなると患者としては戸惑ってしまう。また、新しい医師には自分の症状を最初から説明しなければならず、それが非常に煩わしく感じると同時に何十年も前の話になると覚えていないということも多々出てくる。そのため、医師が変わる場合には1人1人の患者の状態をきちんと記録し、引き継いで欲しい。たとえば、カルテの記載方法を工夫することはできないのかといった意見が挙がった。

議題2

「どのような基準で病院を選びますか？」「患者さん自身が、治療のために気をつけていることがありますか？ またご自身で何をすべきだとお考えですか？」

病院を選ぶ基準としては、

- ① 自宅との距離が近いこと
- ② 自分の主治医がいること

以上の意見が挙がった。

どちらの意見も安心感・信頼感を感じられることが理由として挙がった。特に長期の通院や万が一の事態になったときには、かかりつけの病院が近くにあると安心できる。また、距離の近さだけでなく総合病院のように様々な診療科がある病院は多くの診療科に受診できるため患者にはより安心感が持てるとの意見が挙がった。

治療のために気を付けていること及び自身ですべきこととしては、

- ① 自分の日々の状態を把握しておく
- ② 自分でも病気について勉強をする

以上の意見が挙がった。

自分の状態を日々記録し把握しておくことで体の異変に気づきやすくなる。また、自分でも病気につい

て知識を持つことで医師から教わるだけでなく、自分から医師に様々なことを聞くことができるということが理由として挙げられた。

議題3

「医師、看護師等職員の態度や、第三病院がより良い病院になるための改善点について」

- ① カルテの保存期間について
 - ② ポスターの掲示方法について
- 以上の意見が挙げられた。

①に関しては、

障害年金を請求する際に初診日の確認を求められたが、カルテが残っておらず初診日の確認が取れなかった。カルテの保存期限は5年であり、それを過ぎると処分してしまうというのはわかるが、電子カルテ等で保存期間を延ばして欲しいとの意見が挙げられた。

②に関しては

ただポスターを掲示していくだけでなく、患者にも分かりやすいように内容ごとにコーナーを設けて欲しい。たとえば、『検診のコーナー』や『栄養のコーナー』などが挙げられた。

議題4

「大規模災害の発生時に、第三病院に求めることは何でしょうか。」

食料や薬の備蓄が十分であって欲しいとの意見が挙げられた。

昨年に引き続き、1時間30分という長時間にわたり、様々な意見交換をさせていただきました。ご出席いただきました患者さんにおかれましては、本当にありがとうございました。今回お寄せいただいたご意見は、今後の病院運営に活かしていきたいと思っております。

以上

第2回「患者さんの意見を伺う会」
第三病院 会議室(1)

